



# こころをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.122

## 8月は、「差別をなくす運動月間」です。

1965年(昭和40年)8月11日、同和問題は憲法で保障された基本的人権に関わる重要な社会問題であり、「その早急な解決こそ国の責務であり、同時に国民的課題である」との認識を示した「同和对策審議会答申」が発表されました。

このことから、大分県では8月を「差別をなくす運動月間」と定めており、期間中は県内各地で人権啓発行事が行われます。

同和問題をはじめとするあらゆる差別問題の早期解決をめざすとともに、「一人ひとりが「障がい者の人権」「高齢者の人権」「女性の人権」「子どもの人権」など、いろいろな人権問題に関する理解を深めるきっかけにしたい」というため、期間中次の行事を行います。市民の皆様の参加をお待ちしています。

### 期間中の主な活動

#### 1 「差別をなくす運動月間」 「県民講座」 入場無料

- ◆日時 8月1日(月)13時30分～  
①13時35分～15時5分  
②15時15分～
- ◆場所 大分市コンパルホール
- ◆内容  
①講演会  
講師：高田 美樹さん  
演題：「出会いから学ぶ」
- ②映画 タイトル未定
- ◆問合せ  
大分県人権・同和对策課  
☎097150613176

#### 2 第25回差別をなくす 仏の里のつどい 入場無料

- ◆日時 8月5日(金)14時～16時
- ◆場所 アストくにさき  
アストホール
- ◆内容  
①講演会  
講師：蓮池 薫さん  
演題：夢と絆を求めて  
～翻弄された運命のなかで～
- ◆問合せ  
国東市人権・同和对策課  
☎097817210354

●蓮池 薫さんのプロフィール●

1957年(昭和32)新潟県生まれ。中央大学法学部在学中の1978年(昭和53)に拉致され、2002年(平成14)までの24年間、北朝鮮での生活を余儀なくされる。

2005年(平成17)に中央大学法学部に復学し、2008年3月卒業。その後2013年3月に新潟大学大学院博士前期課程修了。修士学位(学術)を取得し、現在は新潟産業大学で准教授として韓国語、韓国文化などを教える。

『半島へ、ふたたび』で第8回新潮ドキュメント賞受賞。他に『拉致と決断』(新潮社)他著書・訳書多数。

●第9回国東市隣保館まつり  
「こころの川柳」  
課題《まつり》応募作品

老いも子も  
こころ踊って夏まつり  
父からの  
祭り小遣い五銭夢

武蔵町 安永トシ子  
国東町 平永イッコ

### 7月は「社会を明るくする運動」の強調月間です

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

罪を犯した人や非行のある少年を励まし、その立ち直りを助け、すべての人が幸せに暮らせる安心・安全な社会を実現するため、この運動に多くの方々のご賛同とご協力をお願いします。

【問合せ】 福祉課 総務係 ☎0978-72-5164

## 市長室から「みんな」は

### 市長日記

#### 足湯の混浴…ハッピーな一日 国東市長 三河 明史

6月1日は、衣替えの日。高校生や中学生は、二斉に白く輝く夏服になります。

県民手帳を見ると、この6月1日は色々な「日」になっているので、気象記念日、「電波の日」そして「写真の日」だそうです。ここに足湯の日が加わるかも知れません。

この日、6月1日の午前11時から大分空港で「足湯開き」があり、出席しました。大分県東部振興局長や大分空港長、各航空会社空港支店長も出席しており、空港は、中山の報道記者やテレビカメラなどが集まっています。

何故、空港に足湯なのか。大分航空ターミナルの社長によると、「おんせん県おいた」なのに空の玄関口の空港に温泉が無いのは寂しい。」との声が寄せられたそうです。調べてみると空港に足湯があるのは全国で2空港(鹿児島空港、北九州空港)であることが分かったそうです。

でも、温泉を掘れば億単位のお金が必要。色々考えた挙句、温泉のお湯を毎日運んで来て、常設の足湯を作ろうとの結論に達したそうです。

足湯の場所は、空港内1階の喫茶店があった所。オープン前は、中が見えないようにブラインドが閉まっています。オープンイベントでは、ここに「足湯」のれんを掛けようというのです。

のれんを掛けようというのです。社長、空港長、振興局長や私などが二手に分かれて紐を持ち、「上げてください。」の合図でのれんを引き上げると「足湯」のれんが見事に掛りました。店開きです。

そしてブラインドが上げられると「お」と大きな歓声が上がりました。中から二つの見事な浴槽が現れたのです。長方形のかわいらしい香りの総ヒノキ作りのがっしりした浴槽です。

「さあ入ってください。」の声で、私達も靴下を脱ぎ、浴槽に足を入れます。客室乗務員など女性スタッフも入る準備をしていました。でも、ストッキング着用のまま入れるビニールソックスや更衣室も備えているとのことでした。

私の浴槽には、各航空会社の3人の女性スタッフが入りました。テレビカメラが回り、次々とシャッターが切られます。足湯とはいえ、沢山のカメラの前で女性と同じ浴槽に入るのは何とも気恥ずかしいものです。女性スタッフや私にマイクが向けられ、コメントを求められます。

源泉かけ流しで、浴槽にはたつぷりとお湯が入られ、少し熱めのお湯は、心地よく、さらっとしていても気持ちが良いものです。そのうちに、じんわりと汗が滲んできました。足だけ入浴でも、体の芯から温まるのでしょうか。そして、ヒノキの香りがとても良いのです。これは疲れを取るのに効き目がありそうです。

この大分空港内の足湯は、おそらく名物になり、大変な人気を呼ぶでしょう。その多くの人達より先に足湯を使わせていただきます。各航空会社の女性スタッフの皆さんと「足湯の混浴」をしてしまいました。今日一日は、とてもハッピーな気分でした。

## 図書館だより どくしょがいちばん!

問合せ先

国見図書館	☎0978-82-1585
くにさき図書館	☎0978-72-3500
武蔵図書館	☎0978-69-0946
安岐図書館	☎0978-67-3551



▲国見図書館の県立図書館の本のコーナーです。

### 県立図書館コーナー

安岐図書館と国見図書館では、県立図書館の本のコーナーを設けています。安岐図書館では500冊、国見図書館では600冊、それぞれ3ヶ月に一度、県立図書館から本を借りています。中には国東市内の図書館にない本もありますし、なかなか県立図書館まで行けないという方にも好評です。安岐図書館・国見図書館にお越しの際は、是非ご利用ください。なお、このコーナーの本は期限内に借りた館へ返却いただくようになっています。よろしくお願ひします。

### 司書のオススメ

『ぼんやり脳! 上手にボーっとできる人は仕事も人生もうまくいく』  
西多 昌規/著 飛鳥新社/出版

勤勉な日本人の多くはぼんやりするのが苦手といいますが、「ぼんやりすること」は短時間で効率よく結果を出すために実は重要なことだったのです。この本では、ぼんやりしているときに脳で起きていることについて解説しているのですが、「何もしていない」とき脳はいつもの15倍働いていたということに驚きました。スマホやテレビを見る時間を少しだけぼんやりする時間に変えてみませんか?

Q.『りんごかもしれない』や『ふまんがあります』、『もうぬげない』などの絵本で知られる絵本作家は誰でしょう? 答えは図書館で!